

2019年2月8日

滋賀県知事
三日月大造様

MV 22 オスプレイの市街地上空の飛行に強く抗議をするとともに、
訓練内容、飛行ルートを明らかにするよう政府に求めること

日本共産党滋賀県委員会
県委員長 石黒良治

2月4日から、高島市の陸上自衛隊あいば野演習場で、MV 22 オスプレイをつかって、陸上自衛隊と沖縄のアメリカ海兵隊による日米共同訓練が、市民のつよい反対の声を押し切って開始されました。

今回のMV 22 オスプレイは、三重県の陸自明野駐屯地に駐機する米軍普天間飛行場所属で、5日には、オスプレイを使って、自衛隊の隊員を輸送する訓練が公開されています。

4日には県庁から、市街地上空を飛行するオスプレイが確認されています。危険なオスプレイの飛行に対して日米両政府に強く抗議するものです。

7日午後7時前には、大津市市街地上空をオスプレイとおもわれる機体が飛行しています。三重県明野を夜間飛行訓練のため、18時34分に飛び立った3機のオスプレイが、19時12分には、悪天候のため引き返したと報じられています。

昨夜は、機体の激しい爆音に、多くの市民から市役所に問い合わせもあり、不安の声が上がっていますが、何が飛行したのか、どのルートを通じたのか、関係自治体には知らされていない状況です。

三日月知事は、5日の定例記者会見では、「オスプレイは可能な限りどこをどう飛ぶか情報開示してもらおうよう要請していて、どういうスケジュールでどういう機体が飛んだかを近畿中部防衛局から連絡をもらっているので確認したい」と述べています。

よって、知事におかれましては、オスプレイの飛行に強く抗議するとともに、昨日のオスプレイと思われる機体について、内容と飛行ルートなど明らかにするよう求め、県民に知らせることを求めるものです。